



香り高い新そばを味わう

## 第22回新そばまつり

大石田新そばまつりが10月27日・28日の2日間にわたりクロスカルチャープラザ桂桜会館の多目的コートで開催されました。

実り豊かな秋を迎え、「ひきたて」「うちたて」「ゆでたて」の3たてに「とれたて」が加わる、そば好きにはたまらない新そばの季節。今年も香り高い新そばを求めて訪れた多くの方で、大賑わいのイベントとなりました。

### 極上の新そばを提供

今年で22回目となる大石田町新そばまつりは前売分のチケットが前日までに完売、2日間の来場者は約2,500名にのぼり、約5,000食のそばが提供されました。まつりで提供されたそばは、130年以上大石田町で守り継がれてきた固有品種「来迎寺在来」。香り高い打ちたてのそばを提供するため、大石田そば街道振興会や大石田そば道楽の会の会員など約30名が、早朝からそば打ちを始め、打ちたて、ゆでたての極上の新そばを提供したほか、会場の実演コーナーでもそば打ちの腕前を披露し、訪れた方は足を止めて見入っていました。

まつりには宮城県など遠方からもたくさんのお客さんが訪れ新そばを味わいました。中には何度もそばのおかわりをする方もいて、今しか味わえない旬の味を存分に楽しんでいました。



## 「くんまいもの展」も盛況

会場の外では「大石田くんまいもの展」が開催されました。漬け物や自然薯、今年本格的な販売が始まったお米雪若丸の新米などの農産物、町のおいしい特産品のブースが並び、多彩な催しも行われて入場の順番を待つ来場者などで賑わいました。



大石田町新作物研究会の自然薯ブースでは、村山産業高校の生徒が考案した自然薯パンも販売されました。



宮城県涌谷町の砂金採り体験コーナーや北村山建設総合組合による木工体験コーナー、餅まきイベントも開催されました。



花笠踊り元祖会や大石田町民謡研究会、雪国鷹巣太鼓保存会などによる歌や踊り、太鼓の披露も行われました。



## 大石田をまるごと味わうバスツアー



大石田町にふるさと納税をされた仙台市在住者を対象にしたバスツアーが10月27日(土)に開催されました。これはふるさと納税された方に実際に町を訪れてもらい、大石田ファンになってもらうという企画されたもので、参加者32名が歴史民俗資料館や新そばまつり会場、あつたまりランド深堀などをバスで巡り、新そばや温泉など大石田町の秋を満喫しました。